

平成30年度 第6回富里市教育委員会定例会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成30年8月28日(火)  
開会 午後2時  
閉会 午後3時
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 教 育 長 國 本 與 一  
教育長職務代理者 佐々木 浩 二  
委 員 森 田 惠 子  
委 員 會 田 直 子  
委 員 田 口 明
- 4 出席職員 教 育 次 長 中 嶋 保 雄  
教 育 総 務 課 長 中 津 義 孝  
参事兼学校教育課長 竹 尾 裕 之  
学校給食センター所長 押 尾 忠 久  
生涯学習課長 梶 山 健 二  
図 書 館 長 荒 居 富 男
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 小 川 正 久

平成30年9月25日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

## 1 教育長開会宣言

【教育長】平成30年度第6回富里市教育委員会定例会議を開会する。

## 2 前回会議録の承認

平成30年度第5回定例会議会議録承認

(署名人：佐々木委員，森田委員)

## 3 教育長報告

本日は、皆様に出席いただき誠に感謝する。幼稚園，小・中学校は夏休み中であるが，家庭での生活を中心に大過なく過ごしていると思われる。本日の会議は，専決処分の報告，議案，協議事項，報告事項，その他の内容となっている。

それでは出席行事等について報告する。

7月31日，教職員の研修会として，不祥事根絶に係る研修会及び教育講演会を行った。

8月2日，全国大会に出場する高校生の表敬訪問があった。

3日，財団法人藤崎牧士史料館から現金寄附の目録を受領した。

6日，全国大会及び関東大会に出場する富里中学校生徒の表敬訪問があった。

7日，市議会の全員協議会でブロック塀等の対策に関する状況について，説明を行った。

20日，第2回旧洗心小学校跡地利活用検討委員会が開かれ，成田市の事例等を参考にして，今後とも研究していくことになった。

今後の予定では，8月30日に9月の市議会定例会が開会し，9月28日に閉会する。また9月には，中学校体育祭，幼稚園や小学校の運動会が開催されるので，委員の皆様の出席をお願いします。

## 4 教育委員報告

(特になしの声あり)

## 5 専決処分の報告

【教育長】専決処分の報告について，報告第1号行事の後援について，事務局からの説明を求める。

【生涯学習課長】報告第1号専決処分の報告について，富里市教育委員会行政組織規則第12条の規定により，行事の後援について専決処分したので報告する。

行事名は千葉県ユネスコ連絡協議会40年記念誌発刊記念「2018年度第35回千葉県ユネスコ大会 in 富里」、主催者は富里ユネスコ協会である。期日等は、平成30年12月8日、式典が富里中央公民館の4階大会議室、交流会がラディソンホテル成田で行われる予定である。後援の内容は名義使用、専決年月日は平成30年8月15日である。

【教育長】ただいま専決処分の報告があったが質疑はあるか。  
(質疑なしの声あり)

## 6 議案

【教育長】次に議案に入る。議案第1号平成29年度教育委員会点検及び評価(平成30年3月末時点)について、事務局より説明を求める。

【教育総務課長】本案の点検及び評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教育委員会が、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検・評価を行うものである。そして点検・評価の結果に関する報告書には、教育に関し学識経験を有する外部評価者である、玉川大学教授の講評を加え、本会議で議決を得た後に、市議会に提出するとともに公表するものである。

それでは、前回の協議後において、内容に変更のあったものや補足説明が必要なものについて、各課等の長から説明をお願いする。

【参事兼学校教育課長】資料21ページの「安全な食材選びと衛生管理の徹底」について、協議段階では総合評価をBとしていたが、協議内容等を踏まえ、指標に対して実績が目標を達成していることから総合評価をAに変更した。続いて13ページの「個別指導補助員の配置」の富里市特別支援教育研修会への参加率目標について、50%としているのは、この研修会では、県費負担教職員の特別支援コーディネータを中心に各校1名の参加を求め、必要に応じて個別指導補助員を対象とするものの、各校内での子供たちへの支援を優先する場面も想定されることから任意出席とし、年2回の研修会のうち少なくとも1回は参加できるような目標としたからである。平成29年度では、千葉盲学校及び千葉聾学校の職員を招いて研修会を2回開催し、参加率は、対象者13名のうち6名の参加により46%となった。続いて16ページ「適応指導教室(ふれあいセンター)」の指標について、ふれあいセンターは学校への復帰施設ではあるものの100%の復帰は極めて困難であるため、指導要録上の出席率へ変更することを検討している。平成28年度及び平成29年度の出席率を勘案して70%の目標値を

考えている。なお、指導要録上の出席率とは、出席しなければならない日数に対する出席した日数の割合である。ふれあいに通級していた児童・生徒の指導要録上の出席率は、平成29年度が68.36%、平成28年度が63.10%、平均して65.73%であった。

【教育長】他に説明等があればお願いします。

(なしの声あり)

【教育長】事務局の説明が終わった。質疑等があればお願いします。

(質疑なしの声あり)

【教育長】それでは議案第1号を採決する。議案第1号は原案のとおり可決することに異議はあるか。

(異議なしの声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第1号は原案のとおり可決した。次に、議案第2号平成31年度富里市立幼稚園児募集要項について、事務局より説明を求める。

【参事兼学校教育課長】本案は、富里市立幼稚園管理規則により市立幼稚園における平成31年度の園児の募集要項を定めるためのものである。なお、本案は、7月の定例会議で協議された募集要項案の内容のとおり議案として上程するものである。よろしくご審議の上、可決されるようお願いする。

【教育長】説明が終わった。質疑等があればお願いします。

(質疑なしの声あり)

【教育長】それでは議案第2号を採決する。議案第2号は原案のとおり可決することに異議はあるか。

(異議なしの声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第2号は原案のとおり可決した。

## 7 協議事項

【教育長】次に協議事項に入る。協議事項(1)富里市教育振興基本計画(2020年度-2024年度)について、事務局より説明を求める。

【教育総務課長】まず初めに、12ページの資料2は、現行の教育振興基本計画の概要である。取り組むべき教育施策の体系を明確にして、様々な教育課題に着実に対応するため、平成27年3月に教育委員会で策定したものである。計画期間を5か年としているのは、中長期的な視点を持ち、社会情勢の変化などに応じて必要な見直しを行うためである。平成31年度をもって現行計画の期間が満了するため、さらに5か年の期間を延伸して策定しようとするものである。

次に、資料1について、次期計画期間を（2020年度－2024年度）と西暦表示にしているのは、平成31年5月の改元が予定されていることに配慮している。元号が決まり次第、和暦表示とするか西暦を併記するかなどは考慮していく。計画の策定体制では、イメージ図中段の「調査・検討、案の作成」のとおり、学校教育に関わるものは、学校教育課及び教育総務課が、生涯学習に関わるものは、生涯学習課及び図書館が、文化・スポーツに関わるものは、生涯学習課が中心となって案を作成していく。案の作成にあたっては、教育委員会点検及び評価の内容や外部評価者の意見、各課等で実施する事業や運営等を審議する審議会、委員会、協議会等の意見を反映していく。また、市内公立小・中学校に在籍する小学4年・6年生の児童及び中学2年生の生徒並びにその保護者、市内公立小・中学校に勤務する教職員等にアンケート調査を行い、意識の変化や意見を求め、まちづくりふれあいミーティングや各種団体会議など、市民や地域からの意見を踏まえて、案の作成に反映させていく。案のまとまりとともに、パブリックコメントなどにより広く市民の意見を求め、提出された意見を考慮した最終案を作成する。その後、総合教育会議で調整し、教育委員会会議の議決を得て2020年2月策定を目指す予定である。

【教育長】説明が終わった。質疑等があればお願いします。

【委員】意見の反映について、平成30年11月から予定されているが、アンケートの内容は具体化しているか。

【教育総務課長】近隣の成田市や国の第3期教育振興基本計画などを参考に検討中である。学校教育に関わる部分が多いことから学校教育課と協議を重ねて作成する予定である。

【教育長】他に質疑等があればお願いします。

（なしの声あり）

【教育長】他に質疑がないので、本協議について、本日の内容を踏まえ事務局で調整していくこととし、協議事項を終わりにする。

## 8 報告事項

【教育長】次に報告事項に入る。報告事項（1）平成31年度使用教科用図書採択結果については、富里市教育委員会会議規則第10条第1項第3号の規定により、非公開とする。異議はあるか。

（異議なしの発言あり）

【教育長】賛成全員により報告事項（1）は非公開とする。

【教育長】 報告事項（１）について、報告を終了したので、非公開を解く。次に報告事項（２）月例報告をお願いする。

【教育総務課長】 ８月の月例報告は記載のとおりである。９月については、第７回教育委員会定例会議を９月２５日に開催する予定である。

【参事兼学校教育課長】 ８月は記載のとおりであるが、きょうどん塾では、児童８９名と高校生ボランティア７９名など多くの参加者により、活気にあふれた実りある５日間の塾を開催することができた。

９月の予定では、３日に幼稚園・小・中学校の始業式及び校長会議、４日から給食が開始となる。７日は教頭会議、８日は中学校３校の体育祭、１０日は富里第一小学校の指導室訪問、１５日は富里小学校の運動会、２９日は浩養幼稚園・浩養小学校、根木名小学校の運動会を予定している。中学校・小学校の運動会や指導室訪問では、教育委員の皆様の出席をお願いする。児童・生徒及び教職員の事件・事故等については、大きなものの報告はない。また、８月９日から８月１７日までの学校閉庁は好評であり、週休日を含めると１１日間の閉庁となった。その間、教育委員会で対応する体制を取ったものの、保護者から学校に対する問い合わせはなかった。教育委員会の窓口に来庁した保護者は、転出入等による学籍異動の手続きが主であり、教職員には、多忙化解消に向けたいい機会になったと感じている。

平成３０年度分学校給食費徴収状況については、７月末日現在、９６．７９％であり、前年同期比で０．４８ポイントの改善となった。今後、３か月以上滞納している世帯に対して、学校給食費納入を要請するとともに、１０月分の児童手当を給食費へ充てられるよう勧奨を行うなど、引き続き徴収率向上に努める。

【給食センター所長】 ７月の学校給食残菜率について、全体では２２．４％で前月比２．８９ポイント増となった。前年度比においても浩養小学校・富里南中学校を除いた学校で、残菜率が増えている。原因として、記録的な猛暑が７月中にあったことが挙げられる。例年では、７月２１日頃まで梅雨の気候であるが、今年は６月中に梅雨明けとなり、７月の平均気温においても例年に比べ３度以上高かった状況が、残菜率に影響したと考察している。

【生涯学習課長】 初めに社会教育班及び文化資源活用室に係る報告をする。８月は、ふるさと富里再発見 in 小岩井農場について、１９日から２１日まで行い参加者は１０名であった。なお、この学習では、９月１日に富里中央公民館で参加児童による発表会を予定している。

現在、芸術鑑賞事業として、瀬戸栄美子絵画展を行っている。8月26日までの来場者は703名であった。なお、瀬戸氏の在館予定があり、今月は8月29日、9月は、1日、2日、6日の計4日、各日も11時から16時までとなっている。

続いて、スポーツ振興室の報告では、7月から開催の第69回印旛郡市民体育大会は無事に終了を迎え、8月25日に富里中央公民館で総合閉会式を行った。富里市の総合順位は、前回大会と同様の第6位となった。次回の第70回大会に関しては、開催予定の印西市に引き継ぎを行った。

【図書館長】8月の月例報告については、記載のとおりである。9月の予定では、ゆめ・仕事びったり体験について、富里南小学校及び日吉台小学校で予定している。

【教育長】各課等から説明が終わった、質疑があればお願いします。

【佐々木委員】質問ではないが、学校施設開放の体育館使用の件について、浩養小学校で午後9時30分頃に体育館の照明が点いていたことがあった、浩養小学校に限らず各学校で使用時間の厳守を再確認のうえ、指導等をお願いします。

【生涯学習課長】生涯学習課で再確認し、注意喚起とともに使用条件の徹底を図っていく。

【教育長】他に質疑があればお願いします。

(なしの声あり)

## 9 その他

【教育長】次にその他に入る。(1)学校施設におけるブロック塀等の現状についてから(4)文部科学省職員地方教育行政実務研修受入についてまで、事務局から順次説明をお願いします。

【教育総務課長】資料23ページの写真は、上段が富里南小学校のプール内部から撮影したものである。塀の内側の控え壁がないので三角コーン等により立ち入り制限の指導をしている。なお、控え壁は、22ページに掲載のとおり強度を補強するものである。23ページ下段の写真は、同小学校の運動場側から見たプール外側のもので、手前に駐輪場があることから使用禁止の措置をとっている。24ページは同小学校の外周の道路側からの写真である。25ページは、富里小学校のプール外周を正門側から撮った写真である。内部は、富里南小学校同様に控え壁がないので、同様に安全対策を実施している。21ページに戻り、学校施設におけるブロック塀等の安全点検について、6月19日から21日まで廃

校1校を含む市立小・中学校11校の施設の安全点検を自主的に実施した。プールブロック塀のあった学校は、富里小学校と富里南小学校であった。その後、文部科学省より安全点検の方法について通知があり、第1段階の外観に基づく点検と第2段階のブロック内部の点検について、内容が示されたので、改めて7月2日から5日まで外観に基づく点検を実施した。その結果、富里小学校と富里南小学校のほか、浩養小学校で外周境界にブロック塀を使用していたことがわかった。富里小学校及び富里南小学校については、外観に基づく点検で控え壁のない「基準不適合」やコンクリートブロックの劣化があったことから、解体に着手している。浩養小学校については、外観点検では問題がなかったが、ブロック内部の点検について、図面、工事竣工写真、金属探知機による鉄筋調査を実施した結果、鉄筋の定着方法の鍵かけなどに基準不適合の施工があったので、現在、撤去している。8月末までに撤去工事を完了し、9月末までに目隠しフェンスを設置し工事を終了する予定である。

**【参事兼学校教育課長】** 通学路におけるブロック塀等の安全点検等について、6月18日の大阪府北部地方の地震を受け、6月22日に富里市内小・中学校に対し安全点検の依頼し、7月6日までに回答を求めた。また、6月27日に安全点検に係る説明会を実施し、留意事項等について共通理解を図った。さらに7月2日の校長会議において、通学路におけるブロック塀等の安全点検及び児童生徒への安全配慮の指導を行った。それでは、資料に沿って安全点検状況を報告する。各校からの指摘箇所報告数は、富里小学校16箇所、富里第一小学校8箇所、ほか中学校も含め記載のとおり合計99箇所であった。その報告のうち中学校と小学校の重複箇所は21箇所となったことから、指摘箇所の実数は78箇所であった。そのうち、路面から2.2メートル以上のブロック塀等の箇所数は17箇所、2.2メートル以上のブロック塀等以外の要注意箇所数は4箇所であった。要注意箇所の内容については、資料の「状況及び備考」欄に記載のとおりである。学校から指摘のあった箇所について、教育委員会が現地に赴き確認した結果、路面から2.2メートル以上のブロック塀を除いた要注意箇所は、報告同様に4箇所と考えている。教育委員会による現地確認は、7月26日及び27日に行った。なお、今回の現地調査は、外観の目視によるもので、教育委員会職員が実施したことから、診断士等の専門家が調査した結果ではないことを理解願う。この結果を学校と情報共有したうえで、学校の取り組みとしては、危険箇所を児童・生徒に知らせるなど、安全確保に努めている。地震による揺れを感じたら、落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に



身を寄せるなど、自分で自分の身を守る安全確保の方法について、安全教育、安全指導を行っている。今後、路面から2.2メートル以上のブロック塀等の17箇所及び2.2メートルはないが著しいひびが入っているブロック塀2箇所の計19箇所については、建築基準法の関係部署とともに8月中の合同点検を終了する予定である。実際には8月23日に合同点検を行い、今後8月29日に行う予定である。また、要注意箇所として壊れている看板がある2箇所については、通学路の交通安全プログラムに基づいた通学路合同点検の中で確認を行った。そして、警察からの助言に基づき所有者へ対し修繕等を要請している。なお、この要請は学校教育課の職員が行った。今後とも教育委員会では、学校と連携し、児童・生徒への適切な指導に努めるとともに、関係機関と情報を共有し対応していくこととする。

【生涯学習課長】藤崎牧士史料館からの寄附の申出について、8月3日に市長室において、藤崎牧士史料館の財団清算人から寄附金目録の贈呈が行われた。目録に記載された額面は1千100万円、寄附の用途は「藤崎牧士史料館所蔵品の修復や展示等に活用」とされていた。なお、これまでの経緯について概要を説明する。財団法人藤崎牧士史料館では、平成25年3月30日に開催された理事会において財団を解散する議案が承認された。そして同財団より、所有していた千葉県指定有形文化財47点及び美術・骨董類4,621点並びに現金について、平成25年4月26日に寄付の申出があった。この時の同財団は、これら文化財を教育分野での活用し、現金についても文化財などの保存修復へ活用するよう強く望んでいた。当時、本市では、寄附物件が大量であり、これらを適正に保管・管理する施設を有していなかったことから、佐倉市の国立歴史民俗博物館へ、平成30年3月末まで研究借用という貸与の形態で預けていた。その後、同財団と千葉県教育委員会で協議が重ねられ、平成30年5月14日付けで残余財産処分が許可されたことから、冒頭の運びとなった次第である。

【教育総務課長】文部科学省職員教育行政等実務研修により、文部科学省職員1名が富里市に派遣されることになり、本年9月10日から10月5日までの4週間、教育行政の実務経験及び教育現場等における実証的な調査研究のため本市で受け入れることとする。

【教育長】事務局から説明が終わった。質問等があればお願いします。  
(なしの声あり)

【教育長】市議会の一般質問にあった旧保健センターの活用、また、藤崎牧士史料館との関係について、見通しなどの説明があればお願いします。

【生涯学習課長】郷土資料館について、現計画としては、旧保健センターの活用により、平成32年度の一般公開に向けて進めているところである。この度の寄附金は、一旦は教育施設整備基金に積み立て、旧保健センターを資料館とするための整備費として、必要最小限で充てていく考えである。2階を郷土資料等の展示スペース及び保管スペースとして計画している。1階では、保健センター運用当時の調理実習室に調理台や食器棚が在り、和室もそのまま存在するため、公民館の分室的な施設として、使用料などの財源確保も含め、貸出などをできるようなイメージを持っている。また事務室としては、現在の生涯学習課内の文化担当職員を資料館への配置することやその効果など、今後、詳細に検討を重ねる必要がある。

【教育長】質疑等があればお願いします。

(なしの声あり)

#### 10 教育長閉会宣言

【教育長】以上で平成30年度第6回富里市教育委員会定例会議を閉会する。